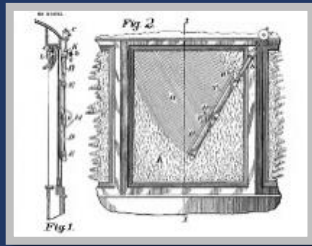


「ボッシュが歩んだワイパーの歴史」



1903

メアリー・アンダーソンがワイパーを
発明、特許取得



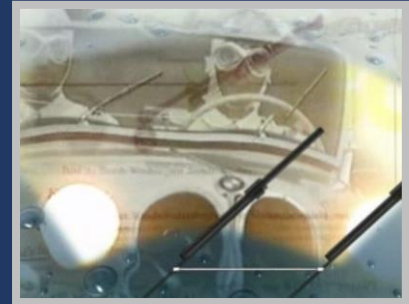
1908

手動式ワイパーの特許がドイツで
取得される



1926

世界で初めてボッシュが電動
モーターによるワイパーシステム
を発表



1928

ボッシュがフィッティング装置
を全ての車両に提供



1958

曲面フロントガラス用枢軸式
ワイパーブレード開発



1959

ウインドウウォッシャーの登場



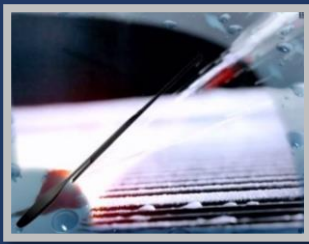
1972

ボッシュ初のヘッドライト
用ワイパーブレード



1975

後部の視界を確保する、リアワイパー登場



凍結防止用加熱機能つき二重ノズル登場

1982



スポイラーワイパーブレード - 的確なダウンフォースで拭取性能が向上

1986



1994

ボッシュ・ツインゴム登場 - ガラスとの接地面用には硬めのゴム、ベース用に柔軟性ゴムを採用



1999

メルセデスベンツとフラットタイプワイパーブレード「エアロツイン」を共同開発、世界で初めてカーメーカーにOEM供給を展開



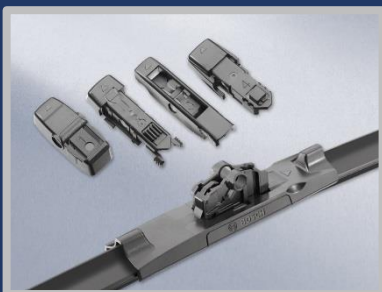
電動モーターの進化により、視認性と快適性が更に向上

2001



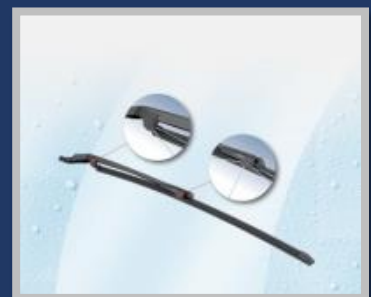
2008

エアロツイン専用マルチクリップ（汎用アダプター）登場 - 1つのワイパーブレードで幅広い車両への装着が可能に



エアロツインマルチクリップが更に進化 - 4つのアダプターで、10種類のワイパーアームに対応可能となる

2013



2015

ジェットワイパー - ワイパーアームに内蔵されたノズルにより、ウォッシャー液の必要量を約30%低減